

注3

大学番号：私192

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

鈴鹿大学 国際人間科学部 国際学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人享栄学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学・短期大学部事務局

職名・氏名 シムキョクチョウ ツツミ ヒデノリ
事務局長 堤 秀紀

電話番号 059-372-2121

（夜間） 059-372-2121

F A X 059-372-2827

e-mail tutumih@kyoeigakuen.net

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際人間科学部

<国際学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人享栄学園

(2) 大学名

鈴鹿大学

(3) 大学の位置

〒510-0298
三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カキオ カズヒコ) 垣尾 和彦 (平成25年4月)	(イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成31年4月)	任期満了 平成31年4月1日(元)
学長	(イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成26年4月)		
学部長	(ホソイ カズヒコ) 細井 和彦 (平成25年4月)	(タナカ リカ) 田中 利佳 (平成30年4月) (ウメダ ハジメ) 梅田 肇 (平成28年4月)	任期満了のため 平成30年4月1日(30) 辞任のため 平成28年4月1日(28)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
国際人間科学部 国際学科 学士(国際学)	社会学・社会福祉学関係	4年	100人	10人 年次人	420人	平成31年4月学生募集停止(元)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (10) [-]	-	100 (-) [-]	-	-	-	-	-	平成31年4月学生募集停止(元)
志願者数	105 (-) [42]	-	139 (-) [69]	-	130 (11) [79]	-	181 (15) [130]	-	-	-	-	-	
受験者数	103 (-) [42]	-	137 (-) [67]	-	127 (11) [77]	-	180 (15) [129]	-	-	-	-	-	
合格者数	101 (-) [42]	-	134 (-) [64]	-	125 (11) [75]	-	142 (15) [95]	-	-	-	-	-	
B 入学者数	77 (-) [30]	-	117 (-) [54]	-	115 (10) [68]	-	129 (14) [89]	-	-	-	-	-	
入学定員超過率 B/A	0.77		1.17		1.15		1.29		-		-	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	77 [30] (-)	- [-] (-)	117 [54] (-)	- [-] (-)	115 [67] (-)	- [-] (-)	129 [89] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		72 [27] (-)	- [-] (-)	108 [51] (-)	- [-] (-)	100 [58] (-)	- [-] (-)	110 [71] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		79 [31] (-)	- [-] (-)	116 [59] (-)	- [-] (-)	130 [90] (-)	- [-] (-)	
4年次					/		76 [27] (-)	- [-] (-)	110 [51] (5)	- [-] (-)	
計			77 [30] (-)	189 [81] (-)			302 [149] (-)	421 [233] (-)	350 [215] (5)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	77人	8人	平成27年度	8人	4人	就職(3) 他の教育機関(2) 除籍(2) 学生個人の心身に関する事情(1) [内数:他の教育機関(1) 除籍(2) 学生個人の心身に関する事情(1)]
平成28年度	189人	19人	平成27年度	3人	2人	進路変更(1) 除籍(1) 学生個人の心身に関する事情(1) [内数:除籍(1) 学生個人の心身に関する事情(1)]
			平成28年度	16人	9人	進路変更(2) 就職(2) 除籍(11) 家庭事情(1) [内数:除籍(9)]
平成29年度	302人	29人	平成27年度	6人	3人	進路変更(3) 除籍(2) 学力不足(1) [内数:進路変更(1) 除籍(2)]
			平成28年度	8人	6人	進路変更(2) 除籍(6) [内数:進路変更(2) 除籍(4)]
			平成29年度	15人	10人	進路変更(4) 学生個人の心身に関する事情(1) 除籍(7) 学力不足(1) 他の教育機関(1) その他(1) [内数:進路変更(1) 学生個人の心身に関する事情(1) 除籍(7) その他(1)]
平成30年度	421人	35人	平成27年度	3人	0人	進路変更(2) 学生個人の心身に関する事情(1)
			平成28年度	2人	2人	除籍(2) [内数:除籍(2)]
			平成29年度	7人	4人	進路変更(1) 学生個人の心身に関する事情(2) 除籍(4) [内数:学生個人の心身に関する事情(1) 除籍(3)]
			平成30年度	23人	21人	進路変更(4) 除籍(19) [内数:進路変更(2) 除籍(19)]
令和元年度	350人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		91人		91人	61人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{77} = \boxed{10.38} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{19}{189} = \boxed{10.05} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{29}{302} = \boxed{9.6} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{35}{421} = \boxed{8.31} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{350} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際人間科学部 国際学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	オールラウンドコミュニケーションⅠ	1前	2			3						
	オールラウンドコミュニケーションⅡ	1後	2			3						
	オールラウンドコミュニケーションⅢ	2前	2					1				
	オールラウンドコミュニケーションⅣ	2後	2					1				
	オールラウンドコミュニケーションⅤ	3前	2			1						
	オールラウンドコミュニケーションⅥ	3後	2			1						
日本語科目	講読Ⅰ	1前		2		1		1				1
	講読Ⅱ	1後		2		1		1				1
	作文Ⅰ	1前		2		1		1				1
	作文Ⅱ	1後		2		1		1				1
	会話Ⅰ	1前		2		1		1				1
	会話Ⅱ	1後		2		1		1				1
	日本語レポート作成支援Ⅰ	2前		2								1
	日本語レポート作成支援Ⅱ	2後		2								1
	ビジネス日本語Ⅰ	2前		2								1
	ビジネス日本語Ⅱ	2後		2								1
	資格の日本語Ⅰ	2前		2								1
	資格の日本語Ⅱ	2後		2								1
科目情報	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2				1					
科目共通	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2				1					
科目共通	鈴鹿学	1前	2			2		1				
初年次教育	初年次セミナーⅠ	1通	4			3	1	3				
	初年次セミナーⅡ	2通	4			3	1	3				
実務教育科目	各種資格・検定Ⅰ	1通		1		1						
	各種資格・検定Ⅱ	1通		1		1						
	各種資格・検定Ⅲ	1通		1		1						
	各種資格・検定Ⅳ	1通		1		1						
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1		1						
	ボランティア活動Ⅱ	1通		1		1						
	ボランティア活動Ⅲ	1通		1		1						
	ボランティア活動Ⅳ	1通		1		1						
	キャリアデザインⅠ	3前		2		1						
	キャリアデザインⅡ	3後		2		1						
インターンシップ	3通		2		1							
実習科目	海外研修Ⅰ	2通		4		1						
	海外研修Ⅱ	2通		4		1						
	海外研修Ⅲ	2通		4		1						
	海外研修Ⅳ	2通		4		1						
	海外研修Ⅴ	2通		4		1						
	国内研修Ⅰ	2通		1		1						
	国内研修Ⅱ	2通		1		1						
	国内研修Ⅲ	2通		2							1	
	国内研修Ⅳ	2通		2							1	
	国内研修Ⅴ	2通		2				1				
	国内研修Ⅵ	2通		2				1				
	国内研修Ⅶ	2通		2				1				
国内研修Ⅷ	2通		2				1					
専門科目	ホスピタリティ論	1前		2				1				
	データベース論	2前		2			1					
	国際スポーツ論	3後		2		1						
	ビジネスICT	3後		2			1					
	マルチメディア演習 情報処理論	3前 3後		2 2			1 1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	オールラウンドコミュニケーションⅠ	1前	2									
	オールラウンドコミュニケーションⅡ	1後	2									
	オールラウンドコミュニケーションⅢ	2前	2					1		1		
	オールラウンドコミュニケーションⅣ	2後	2					1		1		
	オールラウンドコミュニケーションⅤ	3前	2					1		1		1
	オールラウンドコミュニケーションⅥ	3後	2					1		1		1
日本語科目	講読Ⅰ	1前		2								
	講読Ⅱ	1後		2								
	作文Ⅰ	1前		2								
	作文Ⅱ	1後		2								
	会話Ⅰ	1前		2								
	会話Ⅱ	1後		2								
	日本語レポート作成支援Ⅰ	2前		2								2
	日本語レポート作成支援Ⅱ	2後		2								2
	ビジネス日本語Ⅰ	2前		2								1
	ビジネス日本語Ⅱ	2後		2								1
	資格の日本語Ⅰ	2前		2					1			
	資格の日本語Ⅱ	2後		2					1			
科目情報	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2									
科目共通	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2									
科目共通	鈴鹿学	1前	2									
初年次教育	初年次セミナーⅠ	1通	4									
	初年次セミナーⅡ	2通	4					2	1	3		
実務教育科目	各種資格・検定Ⅰ	1通		1								
	各種資格・検定Ⅱ	1通		1								
	各種資格・検定Ⅲ	1通		1								
	各種資格・検定Ⅳ	1通		1								
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1								
	ボランティア活動Ⅱ	1通		1								
	ボランティア活動Ⅲ	1通		1								
	ボランティア活動Ⅳ	1通		1								
	キャリアデザインⅠ	3前		2						1		
	キャリアデザインⅡ	3後		2						1		
インターンシップ	3通		2					1				
実習科目	海外研修Ⅰ	2通		4						1		
	海外研修Ⅱ	2通		4						1		
	海外研修Ⅲ	2通		4						1		
	海外研修Ⅳ	2通		4						1		
	海外研修Ⅴ	2通		4						1		
	国内研修Ⅰ	2通		1				1				
	国内研修Ⅱ	2通		1				1				
	国内研修Ⅲ	2通		2						1		
	国内研修Ⅳ	2通		2						1		
	国内研修Ⅴ	2通		2					1			
	国内研修Ⅵ	2通		2					1			
	国内研修Ⅶ	2通		2					1			
国内研修Ⅷ	2通		2					1				
専門科目	ホスピタリティ論	1前		2								
	データベース論	2前		2					1			
	国際スポーツ論	3後		2		1						
	ビジネスICT	3後		2					1			
	マルチメディア演習 情報処理論	3前 3後		2 2			1 1			1 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域社会領域	社会学	1前	2								1
	法学	1後	2			1					
	発達心理学	1前	2			1					
	多文化理解	1前	2			5					
	歴史学	2後	2			1					
	哲学	2前	2			1					
	ポランティア論(領域基礎演習)	2後	2			5					
	地域づくり研究(領域基礎演習)	2前	2			5					
	生活文化論	3前	2			5					
	日本文化論	3前	2			1					
みえと国際社会	3前	2			1						
国際領域	文化人類学Ⅰ	1前	2			1					
	文化人類学Ⅱ	1後	2			1					
	国際関係論	2前	2			1					
	国際法	2後	2			1					
	政治学	3前	2			1					
	日本政治外交史	3後	2			1					
	グローバルスタディ特殊講義	3前	2			3					
	平和学	3後	2			3					
英米語領域	リセットイングリッシュⅠ	1前	2					1			
	リセットイングリッシュⅡ	1後	2					1			
	リスニングチャレンジ	2後	2			1					
	ベーシックライティング	2前	2			1					
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2			1					
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2			1					
	アドバンスイングリッシュⅠ	3前	2			1					
	アドバンスイングリッシュⅡ	3後	2			1					
	クリエイティブライティングⅠ	3前	2					1			
クリエイティブライティングⅡ	3後	2					1				
通領科目共	地域研究A	2前	2			1					
	地域研究B	2後	2			3					
科領会地	環境学	2後	2			1					
目域・域	多文化共生論	3後	2			5					
共国社	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前	2			1					
通際	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後	2			1					
科語国	TOEICの英語Ⅰ	2前	2					1			
目領域	TOEICの英語Ⅱ	2後	2					1			
地語域	言語学	2前	2			1					
領共社	演習Ⅰ	3通	4			6					
域通科	演習Ⅱ(卒業論文)	4通	4			6					
共通科	合計(152科目)	-									
通自国	卒業要件及び履修方法										
通自英	教養基礎分野から以下の条件を含め26単位以上修得すること ・外国語12単位(留学生入試による入学者は除く) ・留学生入試による入学生は、日本語科目(作文Ⅰ・Ⅱ4単位を含む) 12単位以上 ・情報科目4単位 ・鈴鹿学2単位 ・初年次教育科目8単位 ※教養基礎分野の日本語科目については、日本語を母語としない学生は履修可とする 専門分野 ・選択した領域から30単位以上を含め、所属系(ビジネスマネジメント系・多文化共生系)から50単位以上取得すること ・所属系以外の系から10単位以上取得すること ・演習科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ(卒業論文)」「演習Ⅳ(卒業論文)」の計8単位を取得すること ○卒業必要最低単位数:124単位										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域社会領域	社会学	1前	2								
	法学	1後	2								
	発達心理学	1前	2								
	多文化理解	1前	2								
	歴史学	2後	2			1					
	哲学	2前	2			2					
	ポランティア論(領域基礎演習)	2後	2			5			1		
	地域づくり研究(領域基礎演習)	2前	2			5					1
	生活文化論	3後	2			2					
	日本文化論	3前	2			2					
みえと国際社会	3前	2			2						
国際領域	文化人類学Ⅰ	1前	2								
	文化人類学Ⅱ	1後	2								
	国際関係論	2前	2					1			
	国際法	2後	2					1			
	政治学	3前	2					1			
	日本政治外交史	3後	2					1			
	グローバルスタディ特殊講義	3前	2					1			
	平和学	3後	2					1			
英米語領域	リセットイングリッシュⅠ	1前	2								
	リセットイングリッシュⅡ	1後	2								
	リスニングチャレンジ	2前	2					1			
	ベーシックライティング	2後	2					1			
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2						1		
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2						1		
	アドバンスイングリッシュⅠ	3前	2						1		
	アドバンスイングリッシュⅡ	3後	2						1		
	クリエイティブライティングⅠ	3前	2							1	
クリエイティブライティングⅡ	3後	2							1		
通領科目共	地域研究A	2前	2			1					
	地域研究B	2後	2			1					
科領会地	環境学	2後	2			1					
目域・域	多文化共生論	3後	2			2					
共国社	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前	2					1			
通際	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後	2					1			
科語国	TOEICの英語Ⅰ	2前	2						1		
目領域	TOEICの英語Ⅱ	2後	2						1		
地語域	言語学	2前	2			1					
領共社	演習Ⅰ	3通	4			5					
域通科	演習Ⅱ(卒業論文)	4通	4			5					
共通科	合計(152科目)	-									
通自国	卒業要件及び履修方法										
通自英	教養基礎分野から以下の条件を含め26単位以上修得すること ・外国語12単位(留学生入試による入学者は除く) ・留学生入試による入学生は、日本語科目(作文Ⅰ・Ⅱ4単位を含む) 12単位以上 ・情報科目4単位 ・鈴鹿学2単位 ・初年次教育科目8単位 ※教養基礎分野の日本語科目については、日本語を母語としない学生は履修可とする 専門分野 ・選択した領域から30単位以上を含め、所属系(ビジネスマネジメント系・多文化共生系)から50単位以上取得すること ・所属系以外の系から10単位以上取得すること ・演習科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ(卒業論文)」「演習Ⅳ(卒業論文)」の計8単位を取得すること ○卒業必要最低単位数:124単位										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英米語領域	リセットイングリッシュ I	1前		2					1			
	リセットイングリッシュ II	1後		2					1			
	リスニングチャレンジ	2後		2		1						
	ベーシックライティング	2前		2		1						
	ビジネス英語 I	2前		2		1						
	ビジネス英語 II	2後		2		1						
	アドバンスイングリッシュ I	3前		2		1						
	アドバンスイングリッシュ II	3後		2		1						
	クリエイティブライティング I	3前		2					1			
クリエイティブライティング II	3後		2					1				
通領域共	地域研究A	2前		2		1						
	地域研究B	2後		2		3						
科領全地 目域・域社 共通際	環境学	2後		2		1						
	多文化共生論	3後		2		5						
科語国 目領際・英 共通米	異文化コミュニケーション論 I	2前		2		1						
	異文化コミュニケーション論 II	2後		2		1						
	TOEICの英語 I	2前		2					1			
	TOEICの英語 II	2後		2					1			
目米領地 語域共社 領共通科 域通・国 通目際 科英	言語学	2前		2		1						
	演習 I	3通	4			6						
演習	演習 II (卒業論文)	4通	4			6						
合計(152科目)		-										
卒業要件及び履修方法												
<p>教養基礎分野から以下の条件を含め26単位以上修得すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語12単位(留学生入試による入学者は除く) ・留学生入試による入学者は、日本語科目(作文Ⅰ・Ⅱ4単位を含む) 12単位以上 ・情報科目4単位 ・鈴鹿学2単位 ・初年次教育科目8単位 <p>※教養基礎分野の日本語科目については、日本語を母語としない学生は履修可とする</p> <p>専門分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した領域から30単位以上を含め、所属系(ビジネスマネジメント系・多文化共生系)から50単位以上取得すること ・所属系以外の系から10単位以上取得すること ・演習科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ(卒業論文)」「演習Ⅳ(卒業論文)」の計8単位を取得すること <p>○卒業必要最低単位数:124単位</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英米語領域	リセットイングリッシュ I	1前		2								1
	リセットイングリッシュ II	1後		2								1
	リスニングチャレンジ	2後		2		1						
	ベーシックライティング	2前		2		1						
	ビジネス英語 I	2前		2		1						
	ビジネス英語 II	2後		2		1						
	アドバンスイングリッシュ I	3前		2		1						
	アドバンスイングリッシュ II	3後		2		1						
	クリエイティブライティング I	3前		2						1		
クリエイティブライティング II	3後		2						1			
通領域共	地域研究A	2前		2		1						
	地域研究B	2後		2		3						
科領全地 目域・域社 共通際	環境学	2後		2		1						
	多文化共生論	3後		2					4			
科語国 目領際・英 共通米	異文化コミュニケーション論 I	2前		2		1						
	異文化コミュニケーション論 II	2後		2		1						
	TOEICの英語 I	2前		2						1		
	TOEICの英語 II	2後		2						1		
目米領地 語域共社 領共通科 域通・国 通目際 科英	言語学	2前		2		1						
	演習 I	3通	4			6						
演習	演習 II (卒業論文)	4通	4			6						
合計(152科目)		-										
卒業要件及び履修方法												
<p>教養基礎分野から以下の条件を含め26単位以上修得すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語12単位(留学生入試による入学者は除く) ・留学生入試による入学者は、日本語科目(作文Ⅰ・Ⅱ4単位を含む) 12単位以上 ・情報科目4単位 ・鈴鹿学2単位 ・初年次教育科目8単位 <p>※教養基礎分野の日本語科目については、日本語を母語としない学生は履修可とする</p> <p>専門分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した領域から30単位以上を含め、所属系(ビジネスマネジメント系・多文化共生系)から50単位以上取得すること ・所属系以外の系から10単位以上取得すること ・演習科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ(卒業論文)」「演習Ⅳ(卒業論文)」の計8単位を取得すること <p>○卒業必要最低単位数:124単位</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際領域	文化人類学Ⅰ	1前		2		1						
	文化人類学Ⅱ	1後		2		1						
	国際関係論	2前		2		1						
	国際法	2後		2		1						
	政治学	3前		2		1						
	日本政治外交史	3後		2		1						
	グローバルスタディ特殊講義	3前		2		3						
	平和学	3後		2		3						
英米語領域	リセットイングリッシュⅠ	1前		2		1						
	リセットイングリッシュⅡ	1後		2		1						
	リスニングチャレンジ	2後		2		1						
	ベーシックライティング	2前		2		1						
	ビジネス英語Ⅰ	2前		2		1						
	ビジネス英語Ⅱ	2後		2		1						
	アドバンスイングリッシュⅠ	3前		2		1						
	アドバンスイングリッシュⅡ	3後		2		1						
	クリエイティブライティングⅠ	3前		2				1				
クリエイティブライティングⅡ	3後		2				1					
領域共通	地域研究A	2前		2		1						
	地域研究B	2後		2		1						
領域・国際	環境学	2後		2		1						
	多文化共生論	3後		2		2						
国際・通米	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前		2		1						
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後		2		1						
	TOEICの英語Ⅰ	2前		2				1				
	TOEICの英語Ⅱ	2後		2				1				
領域・通米	言語学	2前		2		1						
演習	演習Ⅰ	3通	4			6						
	演習Ⅱ(卒業論文)	4通	4			6						
合計(152科目)			-									
卒業要件及び履修方法												
<p>教養基礎分野から以下の条件を含め26単位以上修得すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語12単位(留学生入試による入学者は除く) ・留学生入試による入学者は、日本語科目(作文Ⅰ・Ⅱ4単位を含む) 12単位以上 ・情報科目4単位 ・鈴鹿学2単位 ・初年次教育科目8単位 <p>※教養基礎分野の日本語科目については、日本語を母語としない学生は履修可とする</p> <p>専門分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した領域から30単位以上を含め、所属系(ビジネスマネジメント系・多文化共生系)から50単位以上取得すること ・所属系以外の系から10単位以上取得すること ・演習科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ(卒業論文)」「演習Ⅳ(卒業論文)」の計8単位を取得すること <p>○卒業必要最低単位数:124単位</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際領域	文化人類学Ⅰ	1前		2								
	文化人類学Ⅱ	1後		2								
	国際関係論	2前		2			1					
	国際法	2後		2			1					
	政治学	3前		2			1					
	日本政治外交史	3後		2			1					
	グローバルスタディ特殊講義	3前		2			1					
	平和学	3後		2			1					
英米語領域	リセットイングリッシュⅠ	1前		2					1			
	リセットイングリッシュⅡ	1後		2					1			
	リスニングチャレンジ	2前		2			1					
	ベーシックライティング	2後		2			1					
	ビジネス英語Ⅰ	2前		2					1			
	ビジネス英語Ⅱ	2後		2					1			
	アドバンスイングリッシュⅠ	3前		2			1					
	アドバンスイングリッシュⅡ	3後		2			1					
	クリエイティブライティングⅠ	3前		2						1		
クリエイティブライティングⅡ	3後		2						1			
領域共通	地域研究A	2前		2			1					
	地域研究B	2後		2			1					
領域・国際	環境学	2後		2			1					
	多文化共生論	3後		2			2					
国際・通米	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前		2					1			
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後		2					1			
	TOEICの英語Ⅰ	2前		2						1		
	TOEICの英語Ⅱ	2後		2						1		
領域・通米	言語学	2前		2					1			
演習	演習Ⅰ	3通	4						5			
	演習Ⅱ(卒業論文)	4通	4						5			
合計(152科目)			-									
卒業要件及び履修方法												
<p>教養基礎分野から以下の条件を含め26単位以上修得すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語12単位(留学生入試による入学者は除く) ・留学生入試による入学者は、日本語科目(作文Ⅰ・Ⅱ4単位を含む) 12単位以上 ・情報科目4単位 ・鈴鹿学2単位 ・初年次教育科目8単位 <p>※教養基礎分野の日本語科目については、日本語を母語としない学生は履修可とする</p> <p>専門分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した領域から30単位以上を含め、所属系(ビジネスマネジメント系・多文化共生系)から50単位以上取得すること ・所属系以外の系から10単位以上取得すること ・演習科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ(卒業論文)」「演習Ⅳ(卒業論文)」の計8単位を取得すること <p>○卒業必要最低単位数:124単位</p>												

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

特になし。

【平成28年度】

- ・クラス数増加の理由により、「講読Ⅰ」「講読Ⅱ」「会話Ⅰ」「会話Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任3」に変更。
- ・クラス数増加の理由により、「作文Ⅰ」「作文Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「鈴鹿学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「初年次セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授7」、「准教授1」から「准教授0」、「講師3」から「講師0」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「初年次セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授6」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「海外研修Ⅰ」「海外研修Ⅱ」「海外研修Ⅲ」「海外研修Ⅳ」「海外研修Ⅴ」「国内研修Ⅰ」「国内研修Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教授昇任の理由により、「マーケティング論」「経営学総論」「ぶらんど・マネジメント」「国際マーケティング論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・専任講師採用の理由により、「マーケティング・リサーチ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・専任教授採用の理由により、「観光概論Ⅰ」「観光概論Ⅱ」「観光ビジネス論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・専任教員退職の理由により、「国際旅行業務論Ⅰ」「国際旅行業務論Ⅱ」「総合旅行業務論」「世界遺産論」の専任教員等の配置を「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・専任教授退職の理由により、「サービスマネジメント」「モータースポーツマネジメント」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「日本語文法Ⅰ」「日本語文法Ⅱ」の専任教員配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「日本語教授法Ⅰ」「日本語教授法Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・専任教授退職の理由により、「多文化理解」「ボランティア論」「地域づくり研究」「生活文化論」「多文化共生論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「リセットイングリッシュⅠ」「リセットイングリッシュⅡ」の専任教員等の配置を「兼任0」から「兼任1」に変更。

【平成29年度】

- ・クラス数増加の理由により、「オーラルコミュニケーションⅣ」「オーラルコミュニケーションⅤ」の専任教員等の配置を「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・専任准教授退職の理由により、「スポーツ・エクササイズ」「スポーツと健康」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「日本観光地誌」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「スポーツ起業論」「スポーツ組織論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・授業担当教員再編成の理由により、「基礎TOEICの英語」「英検の英語」専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・複数担当から単独の理由により、「多文化理解」「生活文化論」「みえと国際社会」の専任教員等の配置を「兼任0」から「兼任1」に変更。

【平成30年度】

- ・クラス数増の理由により、「オーラルコミュニケーションⅠ」「オーラルコミュニケーションⅡ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「オーラルコミュニケーションⅢ」「オーラルコミュニケーションⅣ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・クラス数増の理由により、「講読Ⅰ」「講読Ⅱ」「会話Ⅰ」「会話Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」及び「兼任3」から「兼任4」に変更。
- ・専任教授の他学部異動の理由により、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・クラス数増の理由により、「スポーツ・エクササイズ」「スポーツと健康」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・専任講師採用の理由により、「スポーツマネジメント」「トップアスリート論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・准教授昇任の理由により、「経営学総論」「経営分析論」「イノベーションマネジメント」「マーケティング・リサーチ」「組織関係論」「観光政策・行政論」「外国語観光地誌」「ニューツーリズム論」「世界遺産論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教授退職の理由により、「リセットイングリッシュⅠ」「リセットイングリッシュⅡ」「ビジネス英語Ⅰ」「ビジネス英語Ⅱ」「異文化コミュニケーションⅠ」「異文化コミュニケーションⅡ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・学生募集の停止により、1年次配当科目の担当教員を削除。
- ・講師から准教授に昇任した理由により、教員数を変更。
- ・クラス数増の理由により、「オーラルコミュニケーションⅤ」「オーラルコミュニケーションⅥ」の教員数を変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	137 科目	0 科目	152 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	変更なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	オールラコミュニケーションⅠ	2	1前	一般	必修	学生募集停止に伴う未開講
2	オールラコミュニケーションⅡ	2	1後	一般	必修	学生募集停止に伴う未開講
3	講読Ⅰ	2	1前	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
4	講読Ⅱ	2	1後	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
5	作文Ⅰ	2	1前	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
6	作文Ⅱ	2	1後	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
7	会話Ⅰ	2	1前	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
8	会話Ⅱ	2	1後	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
9	コンピュータリテラシーⅠ	2	1前	一般	必修	学生募集停止に伴う未開講
10	コンピュータリテラシーⅡ	2	1後	一般	必修	学生募集停止に伴う未開講
11	鈴鹿学	2	1前	一般	必修	学生募集停止に伴う未開講
12	初年次セミナーⅠ	4	1	一般	必修	学生募集停止に伴う未開講
13	各種資格・検定Ⅰ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
14	各種資格・検定Ⅱ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
15	各種資格・検定Ⅲ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
16	各種資格・検定Ⅳ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
17	ボランティア活動Ⅰ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
18	ボランティア活動Ⅱ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
19	ボランティア活動Ⅲ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
20	ボランティア活動Ⅳ	1	1	一般	選択	学生募集停止に伴う未開講
21	ホスピタリティ論	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
22	スポーツエクササイズ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
23	からだから見た健康 (運動生理学)	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
24	スポーツと健康	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
25	スポーツマネジメント	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
26	マーケティング論	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
27	経営学総論	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
28	経済学総論	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
29	経営分析論	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
30	観光概論Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
31	観光概論Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
32	国際旅行業無論Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
33	国際旅行業無論Ⅱ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
34	総合旅行業務論	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
35	スポーツビジネス演習Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
36	スポーツビジネス演習Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
37	中国語Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
38	中国語Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
39	韓国語Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
40	韓国語Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
41	基礎TOEICの英語	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
42	日本語学概論Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
43	日本語学概論Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講

44	日本語文法Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
45	日本語文法Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
46	社会学	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
47	法学	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
48	発達心理学	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
49	多文化理解	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
50	文化人類学Ⅰ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
51	文化人類学Ⅱ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
52	リセットイングリッシュⅠ	2	1前	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講
53	リセットイングリッシュⅡ	2	1後	専門	選択	学生募集停止に伴う未開講

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、平成31年4月から学生募集の停止により、1年次配当科目を未開講科目とした。学生には、オリエンテーションおよび個別指導により周知し、履修登録、卒業単位に支障が生じないよう配慮し、次年度以降は、必要に応じて未開講科目を開講する場合もある。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{53}{152} = \boxed{34.86} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部と 共用		
	校舎敷地	m ²	49,629m ²	m ²	49,629m ²			
	運動場用地	m ²	17,175m ²	m ²	17,175m ²			
	小 計	m ²	66,804m ²	m ²	66,804m ²			
	そ の 他	m ²	15,655m ²	m ²	15,655m ²			
	合 計	m ²	82,459m ²	m ²	82,459m ²			
(2) 校舎	専 用	1,084.02m ²	6,912.54m ²	1,925.66m ²	9,922.22m ²	鈴鹿大学短期大学部 と共用		
		1,084.02m ²	6,912.54m ²	1,922.66m ²	9,922.22m ²			
(3) 教室等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	7室		9室	15室	3室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際人間科学部			26 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	国際人間科学部	32,799 [1,684] (33,623 [1,688]) -(32,799 [1,684])	312 [0] (782 [139]) -(312 [0])	0 [0] (0 [0])	448 (500) (-448)	0	0	
計	32,799 [1,684] (33,623 [1,688]) -(32,799 [1,684])	312 [0] (782 [139]) -(312 [0])	0 [0] (0 [0])	448 (500) (-448)	0	0		
(6) 図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,331.44m ²		230席		16,200冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,745.00m ²		グ ラ ウ ン ド 1 面 テ ニ ス コ ー ト 3 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	120千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円
		共 同 研 究 費 等	千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,130千円	830千円	830千円	830千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料、私立大学等経常費補助金等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		鈴鹿大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度			
大学院	2	10	-	20	-	1.05	-	平成10	-	
国際学研究所	2	10	-	20	修士(国際学)	1.05	-	平成10	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
国際人間科学部	4	-	-	-	-	-	-	平成6	-	
国際学科	4	-	-	-	学士(国際学)	-	-	平成6	三重県鈴鹿市郡山町空而堂山663番222	平成27年度学生募集停止
国際人間科学部(新設)	4	-	-	-	-	-	-	平成27	-	
国際学科	4	-	-	-	学士(国際学)	-	-	平成27	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	※平成29年度学生募集停止
こども教育学部	4	50	3年次5	210	-	0.38	平成31	平成29	-	
こども教育学科	4	50	3年次5	210	学士(教育学)	0.38	平成31	平成29	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	定員変更(△30)
幼児教育学専攻	4	25	3年次3	106	学士(教育学)	0.37	平成31	平成29	同上	定員変更(△15)
養護教育学専攻	4	25	3年次2	104	学士(教育学)	0.39	平成31	平成29	同上	定員変更(△15)
国際地域学部	4	120	3年次10	500	-	1.20	-	平成31	-	
国際地域学科	4	120	3年次10	500	修士(国際学)	1.20	-	平成31	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
大学全体	-	180	3年次15	730	-	0.95	-	-	-	
大学の名称		鈴鹿大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	年度			
生活コミュニケーション学科	2	90	-	180	-	0.81	-	昭和41	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
食物栄養学専攻	2	40	-	80	短期大学士(生活学)	0.95	-	昭和42	同上	
こども学専攻	2	50	-	100	短期大学士(生活学)	0.70	-	平成17	同上	
大学全体	-	90	-	180	-	0.81	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際人間科学部 国際学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授(学長)	市野 聖治 (68) <平成27年4月> 経済学修士	スポーツビジネス演習Ⅱ モータースポーツマネジメント	専任	教授(学長)	市野 聖治 (69) <平成27年4月> 経済学修士	スポーツビジネス演習Ⅱ モータースポーツマネジメント	専任	教授(学長)	市野 聖治 (70) <平成27年4月> 経済学修士	スポーツビジネス演習Ⅱ	専任	教授(学長)	市野 聖治 (72) <平成27年4月> 経済学修士	
専任	教授	高嶋 重次 (64) <平成27年4月> 法学士	国際旅行業務論Ⅰ 国際旅行業務論Ⅱ 総合旅行業務論 モータースポーツマネジメント 世界遺産論 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 国内研修Ⅰ 国内研修Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップ	兼任	教授	高嶋 重次 (65) <平成27年4月> 法学氏	総合旅行業務論								
専任	教授	細井 和彦 (50) <平成27年4月> 博士(文学)	多文化理解 初年次セミナーⅠ ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 地域研究B 歴史学 初年次セミナーⅡ 日本文化論 生活文化論 多文化共生論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専任	教授	細井 和彦 (51) <平成27年4月> 博士(文学)	多文化理解 ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 地域研究B 歴史学 日本文化論 生活文化論 多文化共生論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専任	教授	細井 和彦 (52) <平成27年4月> 博士(文学)	歴史学 日本文化論 多文化共生論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) 地域研究A	専任	教授	細井 和彦 (54) <平成27年4月> 博士(文学)	歴史学 初年次セミナーⅡ 日本文化論 生活文化論 多文化共生論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) 地域研究A
専任	教授	アトノ ジョットビエール (52) <平成27年4月> 修士(美術)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ	専任	教授	アトノ ジョットビエール (53) <平成27年4月> 修士(美術)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ	専任	教授	アトノ ジョットビエール (54) <平成27年4月> 修士(美術)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ	専任	教授	アトノ ジョットビエール (55) <平成27年4月> 修士(美術)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ
専任	教授	伊藤 裕 (63) <平成27年4月> 法学修士	法学 弁論学 多文化理解 ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 生活文化論 多文化共生論	専任	教授	伊藤 裕 (64) <平成27年4月> 法学修士	法学 初年次セミナーⅡ 多文化理解 ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 生活文化論 多文化共生論								
専任	教授	梅田 肇 (55) <平成27年4月> 言語学修士	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ ベシックライティング 地域研究B 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専任	教授	梅田 肇 (57) <平成27年4月> 言語学修士	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ 地域研究B 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専任	教授	梅田 肇 (59) <平成27年4月> 言語学修士	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ 地域研究B 演習Ⅱ(卒業論文) リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 基礎TOEICの英語				
												専任	准教授	天野 剛至 (49) <平成30年4月> 修士(学術)	天野 剛至 (49) <平成30年4月> 修士(学術)
専任	教授	木之内 秀彦 (57) <平成27年4月> 法学修士	地域研究A 政治学 日本政治外交史 グローバルスタディ特殊講義 平和学	専任	教授	木之内 秀彦 (58) <平成27年4月> 法学修士	地域研究A 政治学 日本政治外交史 グローバルスタディ特殊講義 平和学 初年次セミナーⅠ	専任	教授	木之内 秀彦 (59) <平成27年4月> 法学修士	政治学 日本政治外交史 グローバルスタディ特殊講義 平和学 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ	専任	教授	木之内 秀彦 (61) <平成27年4月> 法学修士	地域研究A 政治学 日本政治外交史 グローバルスタディ特殊講義 初年次セミナーⅡ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)
専任	教授	齋藤 千恵 (51) <平成27年4月> 博士(文化人類学)	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーションⅠ 異文化コミュニケーションⅡ グローバルスタディ特殊講義 平和学 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専任	教授	齋藤 千恵 (52) <平成27年4月> 博士(文化人類学)	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーションⅠ 異文化コミュニケーションⅡ グローバルスタディ特殊講義 平和学 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 論理学 哲学 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専任	教授	齋藤 千恵 (53) <平成27年4月> 博士	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーションⅠ 異文化コミュニケーションⅡ グローバルスタディ特殊講義 平和学 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 論理学 哲学 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	周 国龍 (52) <平成27年4月> 学術修士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	周 国龍 (60) <平成27年4月> 学術修士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 演習Ⅱ(卒業論文) 哲学 日本語文法Ⅰ 日本語文法Ⅱ 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ	専	教授	周 国龍 (62) <平成27年4月> 学術修士	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 哲学 日本語文法Ⅰ 日本語文法Ⅱ 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 読談Ⅰ 読談Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ
専	教授	富田 寿代 (58) <平成27年4月> 博士(工学)	多文化理解 初年次セミナーⅠ 各種資格・検定Ⅰ 各種資格・検定Ⅱ 各種資格・検定Ⅲ 各種資格・検定Ⅳ 初年次セミナーⅡ 環境学 ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 生活文化論 多文化共生論 みえと国際社会 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	富田 寿代 (59) <平成27年4月>	多文化理解 初年次セミナーⅠ 各種資格・検定Ⅰ 各種資格・検定Ⅱ 各種資格・検定Ⅲ 各種資格・検定Ⅳ 初年次セミナーⅡ 環境学 ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 生活文化論 多文化共生論 みえと国際社会 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	富田 寿代 (61) <平成27年4月>	初年次セミナーⅠ 各種資格・検定Ⅰ 各種資格・検定Ⅱ 各種資格・検定Ⅲ 各種資格・検定Ⅳ 生活文化論 多文化共生論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) 日本文化論
専	教授	仲(江口) 律子 (47) <平成27年4月> 修士(教育学)	発達心理学 総論学 多文化理解 初年次セミナーⅠ ポランティア活動Ⅰ ポランティア活動Ⅱ ポランティア活動Ⅲ ポランティア活動Ⅳ ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 初年次セミナーⅡ 生活文化論 多文化共生論	専	教授	仲(江口) 律子 (48) <平成27年4月> 修士(教育学)	発達心理学 多文化理解 ポランティア活動Ⅰ ポランティア活動Ⅱ ポランティア活動Ⅲ ポランティア活動Ⅳ ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 生活文化論 多文化共生論 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップ	兼担	教授	仲(江口) 律子 (50) <平成27年4月> 修士(教育学)	発達心理学 ポランティア活動Ⅰ ポランティア活動Ⅱ ポランティア活動Ⅲ ポランティア活動Ⅳ ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) インターンシップ
専	教授	中野 潤三 (60) <平成27年4月> 法学修士	国際関係論 地域研究B 国際法 グローバルスタディ特殊講義 平和学	専	教授	中野 潤三 (61) <平成27年4月> 法学修士	国際関係論 地域研究B 国際法 グローバルスタディ特殊講義 平和学 哲学 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ	専	教授	中野 潤三 (62) <平成27年4月> 法学修士	国際関係論 地域研究B 国際法 平和学 哲学 初年次セミナーⅠ 演習Ⅰ
専	教授	舟橋 宏代 (52) <平成27年4月> 学術修士	講義Ⅰ 講義Ⅱ 作文Ⅰ 作文Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	専	教授	舟橋 宏代 (53) <平成27年4月> 学術修士	講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 演習Ⅰ	専	教授	舟橋 宏代 (55) <平成27年4月> 学術修士	講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 演習Ⅰ
専	教授	松倉 信幸 (52) <平成27年4月> 修士(文学)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ 言語学 リスニングチャレンジ アドバンスト・イングリッシュⅠ アドバンスト・イングリッシュⅡ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	松倉 信幸 (57) <平成27年4月> 修士(文学)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ 言語学 リスニングチャレンジ アドバンスト・イングリッシュⅠ アドバンスト・イングリッシュⅡ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) ベシックライティング 英検の英検	専	教授	松倉 信幸 (58) <平成27年4月> 修士(文学)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ 言語学 リスニングチャレンジ アドバンスト・イングリッシュⅠ アドバンスト・イングリッシュⅡ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) ベシックライティング 英検の英検
専	教授	一柳 達幸 (59) <平成27年4月> 修士(商学)	スポーツビジネス演習Ⅰ からだから見た健康(運動生理学) スポーツビジネス演習Ⅲ 国際スポーツ論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	一柳 達幸 (60) <平成27年4月> 修士(商学)	スポーツビジネス演習Ⅰ からだから見た健康(運動生理学) スポーツビジネス演習Ⅲ 国際スポーツ論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	一柳 達幸 (62) <平成27年4月> 修士(商学)	スポーツビジネス演習Ⅰ からだから見た健康(運動生理学) スポーツビジネス演習Ⅲ 国際スポーツ論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) スポーツと健康 スポーツ・エクササイズ
専	教授	木村 厚 (65) <平成27年4月> 教育学修士	多文化理解 哲学 ポランティア論(領域基礎演習) 地域づくり研究(領域基礎演習) 生活文化論 多文化共生論								
専	准教授	今光 俊介 (46) <平成27年4月> 経営管理修士	マーケティング論 経営学総論 国際マーケティング論 ブランド・マネジメント論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	今光 俊介 (47) <平成27年4月> 経営管理修士	マーケティング論 経営学総論 国際マーケティング論 ブランド・マネジメント論 初年次セミナーⅠ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	今光 俊介 (48) <平成27年4月> 経営管理修士	マーケティング論 経営学総論 国際マーケティング論 ブランド・マネジメント論 初年次セミナーⅠ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)
専	准教授	今光 俊介 (49) <平成27年4月> 経営管理修士	マーケティング論 経営学総論 国際マーケティング論 ブランド・マネジメント論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	今光 俊介 (49) <平成27年4月> 経営管理修士	マーケティング論 経営学総論 国際マーケティング論 ブランド・マネジメント論 初年次セミナーⅠ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) 国際経営論	専	教授	今光 俊介 (49) <平成27年4月> 経営管理修士	国際マーケティング論 ブランド・マネジメント論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文) 経営戦略論 初年次セミナーⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									専	講師	佐藤 悠徳 (30) <平成30年10月> 博士(経済学) 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際経済論 国際経営論 グローバルコミュニケーション組織関係論 企業論
専	准教授	角田 和代 (48) <平成27年4月> 教育学修士 スポーツマネジメント スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツ心理学 トップアスリート論 コミュニティ・スポーツ論 スポーツマーケティング論 スポーツ組織論 メディアスポーツ論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	准教授	角田 和代 (49) <平成27年4月> 教育学修士 スポーツマネジメント スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツ心理学 トップアスリート論 コミュニティ・スポーツ論 スポーツマーケティング論 スポーツ組織論 メディアスポーツ論 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	兼任	准教授	角田 和代 (50) <平成27年4月> 教育学修士 スポーツマネジメント スポーツビジネス演習Ⅱ トップアスリート論			
									専	講師	竹田 昌平 (39) <平成29年4月> 修士(国際学) スポーツマーケティング論 メディアスポーツ論 スポーツ起業論 スポーツツーリズム演習 演習Ⅰ
									専	講師	竹田 昌平 (37) <平成29年4月> 修士(国際学) スポーツマーケティング論 コミュニティ・スポーツ論 メディアスポーツ論 スポーツ組織論 スポーツ起業論 スポーツツーリズム演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)
									専	講師	小野 圭久 (53) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学) 初年次セミナーⅡ スポーツ・エクササイズ スポーツと健康 スポーツマネジメント トップアスリート論 コミュニティ・スポーツ論 スポーツ組織論
専	准教授	田中 利佳 (53) <平成27年4月> 体育学士 スポーツ・エクササイズ スポーツと健康 初年次セミナーⅠ 体力・トレーニング論 スポーツコーチング 初年次セミナーⅡ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	准教授	田中 利佳 (54) <平成27年4月> 体育学士 スポーツ・エクササイズ スポーツと健康 体力・トレーニング論 スポーツコーチング 初年次セミナーⅡ 鈴鹿学	専	准教授	田中 利佳 (55) <平成27年4月> 体育学士 体力・トレーニング論 スポーツコーチング 鈴鹿学 スポーツ心理学 スポーツビジネス演習Ⅱ モーター・スポーツマネジメント 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)	専	教授	田中 利佳 (56) <平成27年4月> 体育学士 体力・トレーニング論 スポーツコーチング 初年次セミナーⅡ スポーツ心理学 スポーツビジネス演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ(卒業論文)
専	准教授	原 仁志 (44) <平成27年4月> 工学修士 コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ データベース論 マルチメディア演習 情報処理論 ビジネス10T	専	准教授	原 仁志 (45) <平成27年4月> 工学修士 コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ データベース論 マルチメディア演習 情報処理論 ビジネス10T 初年次セミナーⅡ	専	准教授	原 仁志 (46) <平成27年4月> 工学修士 コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ データベース論 マルチメディア演習 情報処理論 ビジネス10T 初年次セミナーⅡ	専	准教授	原 仁志 (47) <平成27年4月> 工学修士 コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ データベース論 マルチメディア演習 情報処理論 ビジネス10T 初年次セミナーⅡ 演習Ⅰ
専	講師	千 鑫 (29) <平成27年4月> 博士(経営学) 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ イノベーションマネジメント 経営戦略論 経営分析論 組織関係論									
			専	講師	高見 啓一 (37) <平成28年4月> 修士(商学・文化政策学) 初年次セミナーⅡ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ モーター・スポーツマネジメント 経営分析論 イノベーションマネジメント 経営戦略論 マーケティング・リサーチ 組織関係論 鈴鹿学	専	講師	高見 啓一 (38) <平成28年4月> 修士(商学・文化政策学) 初年次セミナーⅡ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 経営分析論 イノベーションマネジメント 経営戦略論 マーケティング・リサーチ 組織関係論 鈴鹿学	専	准教授	高見 啓一 (39) <平成28年4月> 修士(商学・文化政策学) 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 経営分析論 イノベーションマネジメント 経営戦略論 マーケティング・リサーチ 組織関係論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 初年次セミナーⅠ 経済学総論
専	講師	村瀬 慶紀 (31) <平成27年4月> 博士(経営学) ホスピタリティ論 初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 観光政策・行政論 日本観光地誌 外国観光地誌 ニューツーリズム論 国内研修Ⅴ 国内研修Ⅵ 国内研修Ⅶ 国内研修Ⅷ	専	講師	村瀬 慶紀 (32) <平成27年4月> 博士(経営学) 初年次セミナーⅡ 観光政策・行政論 日本観光地誌 国内研修Ⅰ 国内研修Ⅱ 国内研修Ⅲ 国内研修Ⅳ 国内研修Ⅴ 国内研修Ⅵ 国内研修Ⅶ 国内研修Ⅷ サービスマネジメント 鈴鹿学						

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
			崔 毅弦 (45) <平成29年4月> 博士(経済学)	崔 毅弦 (45) <平成29年4月> 博士(経済学)	崔 毅弦 (45) <平成29年4月> 博士(経済学)	崔 毅弦 (45) <平成29年4月> 博士(経済学)	崔 毅弦 (47) <平成29年4月> 博士(経済学)	崔 毅弦 (47) <平成29年4月> 博士(経済学)
			郭 育仁 (35) <平成28年4月> 博士(政策科学)	郭 育仁 (36) <平成28年4月> 博士(政策科学)	郭 育仁 (37) <平成28年4月> 博士(政策科学)	郭 育仁 (37) <平成28年4月> 博士(政策科学)	郭 育仁 (38) <平成28年4月> 博士(政策科学)	郭 育仁 (38) <平成28年4月> 博士(政策科学)
			渡邊 聡 (35) <平成27年4月> 博士(経済学)	渡邊 聡 (36) <平成27年4月> 博士(経済学)	渡邊 聡 (37) <平成27年4月> 博士(経済学)	渡邊 聡 (37) <平成27年4月> 博士(経済学)	渡邊 聡 (37) <平成27年4月> 博士(経済学)	渡邊 聡 (37) <平成27年4月> 博士(経済学)
			榎敷 まゆみ (45) <平成27年4月> 修士(人文科学)	榎敷 まゆみ (46) <平成27年4月> 修士(人文科学)	榎敷 まゆみ (47) <平成27年4月> 修士(人文科学)	榎敷 まゆみ (47) <平成27年4月> 修士(人文科学)	榎敷 まゆみ (49) <平成27年4月> 修士(人文科学)	榎敷 まゆみ (49) <平成27年4月> 修士(人文科学)
			ブライアン ジェームズ (40) <平成27年4月> Master of Science in Education	ブライアン ジェームズ (41) <平成27年4月> Master of Science in Education	ブライアン ジェームズ (42) <平成27年4月> Master of Science in Education	ブライアン ジェームズ (43) <平成27年4月> Master of Science in Education	ブライアン ジェームズ (44) <平成27年4月> Master of Science in Education	ブライアン ジェームズ (44) <平成27年4月> Master of Science in Education
			金 蘭正 (40) <平成27年4月> 観光学博士					
			富本 真理子 (57) <平成28年4月> 博士(文化政策学)	富本 真理子 (57) <平成28年4月> 博士(文化政策学)	富本 真理子 (58) <平成28年4月> 博士(文化政策学)	富本 真理子 (58) <平成28年4月> 博士(文化政策学)	富本 真理子 (60) <平成28年4月> 博士(文化政策学)	富本 真理子 (60) <平成28年4月> 博士(文化政策学)
			赤塚 恵子 (67) <平成27年4月> 文学修士					
			奥村 典子 (58) <平成28年4月> 文学修士	奥村 典子 (59) <平成28年4月> 文学修士	奥村 典子 (60) <平成28年4月> 文学修士	奥村 典子 (60) <平成28年4月> 文学修士	奥村 典子 (61) <平成28年4月> 文学修士	奥村 典子 (61) <平成28年4月> 文学修士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	大野 陽子 (40) <平成27年4月> 日本語教育修士	兼任	講師	大野 陽子 (42) <平成27年4月> 日本語教育修士	兼任	講師	大野 陽子 (43) <平成27年4月> 日本語教育修士	兼任	講師	大野 陽子 (44) <平成27年4月> 日本語教育修士
		作文Ⅰ 作文Ⅱ			作文Ⅰ 作文Ⅱ 講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ			作文Ⅰ 作文Ⅱ 講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ			作文Ⅰ 作文Ⅱ 講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ 日本語レポート作文支援Ⅱ
兼任	講師	大本 達也 (52) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	大本 達也 (53) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	大本 達也 (54) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	大本 達也 (55) <平成28年4月> 文学修士
		日本語レポート作成支援Ⅰ 日本語レポート作成支援Ⅱ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ			日本語レポート作成支援Ⅰ 日本語レポート作成支援Ⅱ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ 講義Ⅰ 講義Ⅱ			日本語レポート作成支援Ⅰ 日本語レポート作成支援Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ 講義Ⅰ 講義Ⅱ 基礎TOEICの英語			日本語レポート作成支援Ⅰ 日本語レポート作成支援Ⅱ
兼任	教授	川又 俊則 (48) <平成27年4月> 修士(文学)	兼任	教授	川又 俊則 (49) <平成27年4月> 修士(文学)	兼任	教授	川又 俊則 (50) <平成27年4月> 修士(文学)	兼任	教授	川又 俊則 (51) <平成27年4月> 修士(文学)
		社会学			社会学			社会学			社会学
兼任	講師	杉山 公信 (46) <平成27年4月> 経営学士	兼任	講師	杉山 公信 (47) <平成27年4月> 経営学士	兼任	講師	杉山 公信 (48) <平成27年4月> 経営学士	兼任	講師	杉山 公信 (49) <平成27年4月> 経営学士
		スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツ・ツーリズム論			スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツ・ツーリズム論			スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツ・ツーリズム論			スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツ・ツーリズム論
兼任	講師	西田 淑子 (52) <平成28年4月> Master of Science Sociology									
		サービスマネジメント									
兼任	講師	葉瀬 歩 (52) <平成29年4月> 教育学修士	兼任	講師	葉瀬 歩 (53) <平成29年4月> 教育学修士						
		スポーツ授業論 スポーツ・ツーリズム演習			スポーツ授業論 スポーツ・ツーリズム演習						
兼任	教授	梅原 頼子 (50) <平成29年4月> 学士(教養)	兼任	教授	梅原 頼子 (51) <平成29年4月> 学士(教養)	兼任	教授	梅原 頼子 (52) <平成29年4月> 学士(教養)	兼任	教授	梅原 頼子 (53) <平成29年4月> 学士(教養)
		語学学			語学学			語学学			語学学
兼任	助教	小川 真由美 (38) <平成27年4月> 修士(看護学)	兼任	助教	小川 真由美 (39) <平成27年4月> 修士(看護学)	兼任	助教	小川 真由美 (40) <平成27年4月> 修士(看護学)	兼任	助教	小川 真由美 (41) <平成27年4月> 修士(看護学)
		語学学			語学学			語学学			語学学
兼任	講師	江藤 明美 (63) <平成27年4月> 短期大学士	兼任	講師	江藤 明美 (64) <平成27年4月> 短期大学士	兼任	講師	江藤 明美 (65) <平成27年4月> 短期大学士	兼任	講師	江藤 明美 (66) <平成27年4月> 短期大学士
		語学学			語学学			語学学			語学学
兼任	講師	ロイド アビゲイル (39) <平成28年4月>	兼任	講師	ロイド アビゲイル (40) <平成28年4月>	兼任	講師	ロイド アビゲイル (41) <平成28年4月>	兼任	講師	ロイド アビゲイル (42) <平成28年4月>
		リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ			リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ			リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ			リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ
兼任	講師	山本 年彦 (45) <平成28年4月>	兼任	講師	山本 年彦 (46) <平成28年4月>	兼任	講師	山本 年彦 (47) <平成28年4月>	兼任	講師	山本 年彦 (48) <平成28年4月>
		国内旅行業務論Ⅰ 国内旅行業務論Ⅱ			国内旅行業務論Ⅰ 国内旅行業務論Ⅱ			国内旅行業務論Ⅰ 国内旅行業務論Ⅱ			国内旅行業務論Ⅰ 国内旅行業務論Ⅱ
兼任	講師	長崎 和江 (49) <平成28年4月>	兼任	講師	長崎 和江 (49) <平成28年4月>	兼任	講師	長崎 和江 (49) <平成28年4月>	兼任	講師	長崎 和江 (49) <平成28年4月>
		総合旅行業務論			総合旅行業務論			総合旅行業務論			総合旅行業務論
兼任	講師	中谷 恵子 (62) <平成28年4月> 学士(学術)	兼任	講師	中谷 恵子 (63) <平成28年4月> 学士(学術)	兼任	講師	中谷 恵子 (64) <平成28年4月> 学士(学術)	兼任	講師	中谷 恵子 (65) <平成28年4月> 学士(学術)
		多文化理解 みえと国際社会 生活文化論			多文化理解 みえと国際社会 生活文化論			多文化理解 みえと国際社会 生活文化論			多文化理解 みえと国際社会
兼任	講師	陶山 宗幸 (58) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	陶山 宗幸 (59) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	陶山 宗幸 (60) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	陶山 宗幸 (61) <平成29年4月> 修士(法学)
		法学			法学			法学			法学
兼任	講師	浦山 美和子 (64) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	浦山 美和子 (65) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	浦山 美和子 (66) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	浦山 美和子 (67) <平成30年4月> 修士(教育学)
		講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ			講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ			講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ			講義Ⅰ 講義Ⅱ 会話Ⅰ 会話Ⅱ

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

特になし

【平成28年度】

・高嶋教授、宇鑫講師の2名退職により、富本教授、高見講師、郭講師の3名を採用。

【平成29年度】

・伊藤教授、角田准教授、村瀬淳教授の3名退職により、竹田講師、崔講師の2名を採用。

【平成30年度】

・梅田教授、齋藤教授、渡邊准教授の3名退職により、天野准教授、小野講師の2名を採用。

【令和元年度】

・平成30年10月1日付け、佐藤講師を採用。
・平成31年4月学生募集停止に伴い、1年次配当授業科目のうち、不開講科目は削除。
・初年次セミナー、演習は、クラス編成に伴い担当教員を変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）**を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
16	4	5	0	25	13	6	4	0	23
(16)	(4)	(5)	(0)	(25)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
13	6	4	0	23	13	6	4	0	23
[△3]	[2]	[△1]	[0]	[△2]	[△3]	[2]	[△1]	[0]	[△2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{23}{25} = \boxed{92} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	金 蘭正		選択	観光概論Ⅰ	①	他大学へ転出のため就任辞退（26）			
				選択	観光概論Ⅱ	①				
				選択	観光ビジネス論	①				
				選択	国内研修Ⅲ	①				
				選択	国内研修Ⅳ	①				
				選択	マーケティング・リサーチ	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	于 鑫		必修	初年次ゼミナールⅠ	①	他大学へ転出のため辞任（26）
				必修	初年次ゼミナールⅡ	①	
				選択	イノベーションマネジメント	①	
				選択	経営戦略論	①	
				選択	経営分析論	①	
				選択	組織関係論	①	
2	教授	高嶋 重次		選択	国内旅行業務論Ⅰ	②	任期満了のため辞任（27）
				選択	国内旅行業務論Ⅱ	②	
				選択	総合旅行業務論	②	
				選択	モータースポーツマネジメント	①	
				選択	世界遺産論	①	
				選択	海外研修Ⅰ	①	
				選択	海外研修Ⅱ	①	
				選択	海外研修Ⅲ	①	
				選択	海外研修Ⅳ	①	
				選択	海外研修Ⅴ	①	
				選択	国内研修Ⅰ	①	
				選択	国内研修Ⅱ	①	
				選択	キャリアデザインⅠ	①	
				選択	キャリアデザインⅡ	①	
	選択	インターンシップ	①				
3	教授	木村 厚		選択	多文化理解	①	任期満了のため辞任（27）
				選択	哲学	①	
				選択	ボランティア論	①	
				選択	地域づくり研究	①	
				選択	生活文化論	①	
4	准教授	角田 和代		選択	スポーツマネジメント	①	他大学へ転出のため辞任（29）
				選択	スポーツビジネス演習Ⅰ	①	
				選択	スポーツ心理学	①	
				選択	トップアスリート論	①	
				選択	コミュニティ・スポーツ論	①	
				選択	スポーツマーケティング論	①	
				選択	スポーツ組織論	①	
				選択	メディアスポーツ論	①	
				必修	演習Ⅰ	①	
				必修	演習Ⅱ	①	

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
5	講師	村瀬 慶紀	必修	鈴鹿学	①	他大学へ転出のため辞任 (29)			
			選択	サービスマネジメント	①				
			選択	ホスピタリティ論	①				
			必修	初年次セミナーⅡ	①				
			選択	日本観光地誌	①				
			選択	国際研修Ⅰ	①				
			選択	国際研修Ⅱ	①				
			選択	国際研修Ⅲ	①				
			選択	国際研修Ⅳ	①				
			選択	国際研修Ⅴ	①				
			選択	国際研修Ⅵ	①				
			選択	国内研修Ⅶ	①				
			選択	国際研修Ⅷ	①				
6	教授	梅田 肇	選択	オーラルコミュニケーションⅠ	①	他大学へ転出のため辞任 (30)			
			選択	オーラルコミュニケーションⅡ	①				
			選択	地域研究B	①				
			選択	演習Ⅱ	①				
			選択	リセットイングリッシュⅠ	①				
			選択	リセットイングリッシュⅡ	①				
			選択	基礎TOEICの英語	①				
7	教授	齋藤 千恵	選択	文化人類学Ⅰ	①	他大学へ転出のため辞任 (30)			
			選択	文化人類学Ⅱ	①				
			選択	異文化コミュニケーションⅠ	①				
			選択	異文化コミュニケーションⅡ	①				
			選択	グローバルスタディ特殊講義	①				
			選択	平和学	①				
			必修	初年次セミナーⅠ	①				
			必修	初年次セミナーⅡ	①				
			必修	鈴鹿学	①				
			選択	哲学	①				
			必修	演習Ⅰ	①				
			必修	演習Ⅱ	①				
			8	教授	仲 律子		選択	発達心理学	②
選択	ボランティア活動Ⅰ	①							
選択	ボランティア活動Ⅱ	①							
選択	ボランティア活動Ⅲ	①							
選択	ボランティア活動Ⅳ	①							
選択	ボランティア論	①							
選択	地域づくり研究	①							
選択	キャリアデザインⅠ	①							
選択	キャリアデザインⅡ	①							
選択	インターンシップ	①							
9	准教授	渡邊 聡	必修	初年次セミナーⅠ	①	他大学へ転出のため辞任 (30)			
			選択	経済学総論	①				
			選択	企業論	①				
			選択	国際経済学	①				
			選択	国際経営学	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
9	人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	72 科目	選択	68 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	84 科目	計	80 科目	計	4 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
10 人	必修	12	科目	必修	12	科目	必修	0	科目
	選択	78	科目	選択	74	科目	選択	4	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	90	科目	計	86	科目	計	4	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{10}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	伊藤 裕	選択	法学	②	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)							
			必修	初年次セミナー I	①								
			選択	多文化理解	①								
			選択	ボランティア論	①								
			選択	地域づくり研究	①								
			選択	生活文化論	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	5	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員交代に係る大学の所見は、辞任等に伴う担当科目については、専任教員が担当し (一部の科目は、兼任教員が担当) しているため学生への影響はないと考えている。また、学生への周知は、キャンパスガイド、オリエンテーション等により変更について周知している。(30)</p>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
設 置 時 (平成27年4月)	「該当なし」			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27月)	既設学部（鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 国際人間科学部の平成28年度入学生は、平成28年3月15日現在115名の見込であり、定員充足率1.15倍である。高等学校や日本語学校の訪問時期を再検討し、電子媒体での広報を重点に置く学生募集活動を行った結果と考えられる。 短期大学部生活コミュニケーション学科生活コミュニケーション学専攻は、平成28年3月22日現在、27名の見込みであり、定員充足率0.68倍である。従来からの「入試広報キャリア委員会」と情報の発信を積極的に行うため新たに「情報広報委員会」を設置した。各委員会の役割を明確にし、受験生に対し電子媒体を活用する効果的な募集活動を行うなどの改善を図っている。 (28)	履行済	国際人間科学部は、平成31年度以降の学部名称変更を含めた教学改革を検討する。また、募集活動については、高校生に直接情報を届けることを目的に、ガイダンスへの参加回数を増加させるとともに、SNSを利用した広報活動を充実させる。 短期大学部生活コミュニケーション学科生活コミュニケーション学専攻は、平成29年度に改組転換を行い、生活コミュニケーション学専攻の定員廃止及び他専攻の定員減に伴う鈴鹿大学への新学部設置を予定している。（平成28年3月大学設置認可申請書の申請） (28)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年)	「該当なし」			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	「該当なし」			

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況調査時 (平成30年)	<p>学生数が定員を大きく超過（平成30年度：1.29倍）している。また、多くの留学生（平成30年度：129名中89名）を受入れている一方で、留学生を中心として多数の退学者（平成29年度：計41名、うち留学生は29名）が生じている。学生数を収容定員に基づき、適正に管理するとともに、学生数の確保という観点で安易に留学生等を受入れることなく、入学志願者の能力・適正等を適切に判定するよう是正するほか、入学後の学生の学修指導や学生支援の充実に取り組むこと。</p>	<p>指摘事項 (是正)</p>	<p>国際人間科学部は、平成31年4月に学生募集を停止した。</p> <p>留学生の入学後の学修指導や学生指導については、平成31年度から「留学生教育支援センター」を設置し、センター長（教員）のほか、教員スタッフ3名と事務スタッフ2名を配置した。主に、入学後の日本語能力向上を支援するため、特別講座の開講、個別指導、入国管理局等に関する各種申請書類の補助を行う。また、在籍管理も当センターが行い、常に留学生とコミュニケーションを図りながら、学修支援と学生支援を同時に行う役割を持つセンターである。</p> <p>(元)</p> <p>履行中</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<こども教育学部 こども教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 本学では、平成30年度までは、全学的な教育の資質の維持向上を図る機関として、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部に、自己点検・評価委員会を設置し、下部組織として、FD・SD部会を設置していたが、今年度からは、FD・SD推進委員会に改編し活動する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD部会は、必要に応じて随時開催（平成30年度は10回開催）している。
- ・ 構成員は、教員5名および事務職員2名で構成している。

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SD活動の基本方針に関する事項
- ・ FD・SD研修会に関する事項
- ・ 教育活動の組織的改善に関する事項
- ・ 事務機能の組織的改善に関する事項
- ・ 学生の授業評価の実施に関する事項
- ・ 授業方法の改善に関する事項
- ・ 教職員の研修及び資格取得に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD・SD研修会（月1回程度）
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 授業評価アンケートの集計、分析および学生へのフィードバック
- ・ 教員相互による授業参観及び事後検討会

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケート 年2回実施（前期と後期）
- ・ FD・SD研修会 毎月第3水曜日に開催
- ・ 授業参観 年2回実施（参観後、事後検討会を開催）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD研修会 平成30年度は11回開催
- ・ その他研修会

三重県私立大学高専協会主催による合同FD・SD研修会に積極的に参加している。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・学長、副学長、学部長の役職者等で構成する「企画・運営部会議」において、FD・SD研修会の実施内容を報告している。その結果を踏まえ、活動の振り返りと課題を認識し、改善事項については、学長からの指示のもと、学部、学科、専攻単位の教員組織内で改善に向け取り組んでいる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・授業評価アンケートを実施している。
 - ・実施時期は、前期は7月、後期は1月に行っている。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・教員には、集計後のアンケート結果に基づき、コメントの提出を義務付けている。
 - ・学生には、アンケート集計結果と教員からのコメントをまとめ、自由に閲覧できるよう備付している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学と人間科学の諸分野において、学際的な教育研究を行うことにより、専門的な知識と豊かな教養、広い視野と柔軟な思考力をもった人材を育成し、ビジネス、ホスピタリティやウエルネスを含めた分野で国際社会と地域社会の発展に寄与するため、実学的な国際学を基盤とすることで、課題を解決する人材を育成し、近年のグローバル化社会への急激な進展と、大都市集中化を背景にした地方都市振興へのニーズの増大に対処するため、グローバルな視点に立ち、地域社会及び国際社会にも貢献できるビジネス創生型、多文化共生型の人材育成を見据えた初年次教育の実施ができた。また、2年次からは、学生のキャリアデザインにあわせ、2つの系統及び6つの領域から一つを選択し、本学のCP、DPに沿った学修を展開するとともに、目的達成に向けた組織体制の強化と学生に対するきめ細かな指導を行う。平成30年度は、設置後初めて卒業生を輩出し、4年間で学修した各専門領域の分野を生かし、社会に貢献できる人材を養成することができた。引き続き、在学生には、当該学部のディプロマポリシーに基づき、地域社会における課題を自らが解決できる人材を養成する。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
 - ・令和元年6月末 公表(予定)
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開 <https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/assessment.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・本学は、平成28(2016)年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、大学評価の基準に「適合」しているとの認定を受けた。(認定期間は、7年間)
- ・今後の計画は、本学の自己点検・評価を実施するとともに、認証評価を受審する年度を検討する。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年6月30日 ）

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。